亦可㆓煠食㆒、是皆可㆑充㆓久和爲㆒也、

〔類聚名義抄 八艸〕澤蔦 ナマヰ、一云オモタカ、

〔伊呂波字類抄 奈殖物附殖物具〕澤寫 ナマヰ オマタカ 烏芋 葱草 芒芋 蔦芘 蔦茈 已上同芘 蘀蔦 仁諝音昔、楊玄操音私也反澤寫、一云、藥草也、車前別名、〔同 於殖物附殖物具〕澤舄 オモタカ 亦ナマヰ

〔撮壤集 中草〕澤瀉 ヲモタカ

〔易林本節用集 於草木〕澤瀉 オモダカ

〔書言字考節用集 六生植〕澤瀉 ヲモダカ 鵠瀉、禹孫並同、蕍 同 並見㆓本草㆒ 澤瀉 ミヅナギ 蕍 同

〔重修本草綱目啓蒙 十六水草〕澤瀉 ナマヰ 和名鈔 サジヲモダカ 京 ナヽトウグサ 佐州 ナヽト 新校正

水澤中ニ生ズ、奥州仙臺ノ產眞物也、春舊根ヨリ苗ヲ生ズ、葉ノ形車前(オホバコ)ノ葉ニ似テ、大ニシテ厚ク、數葉叢生ス、夏ノ末莖ヲ抽コト高サ三四尺、節ゴトニ三枝ヲ分チ、枝ゴトニ三叉ヲ分チ、叉ゴトニ一花ヲ開ク、三瓣白色、大サ三分許、下ニ三蕚アリ、花後實ヲ結ブ、圓小ニシテ薄ク、圓ニ並ビテ冬葵(フユアフヒノ)子ノ如シ、霜後苗枯ル、諸國自生ノ者ハ、葉ノ形羊蹄(ギシギシ)ノ葉ニ似テ長ク、花ノ色淡紫、其根至テ小クシテ輕虛、コレ卽本草原始ニ載ル所ノ水澤瀉ニシテ下品也、藥舖ニ鬻グ所舶來ノ者ヲ上品トスレドモ、今少シ、仙臺ヨリ出ル者多シ、舶來ニ次テ上品トス、古ハ丹波、近江、越後ヨリ水澤瀉ヲ出ス、今ハ否ズ、古ヨリ澤瀉ヲオモダカト訓ズルハ非ナリ、オモダカハ野茨菰 東醫寶鑑 慈菰花 草花譜 ナリ、

〔農業全書 十藥種之類〕澤瀉 たくしや

たくしやは、水田にうへてよし、是も藥屋にうるべし、藺をうゆる法に同じ、丹波にて尤も多く是を作る、

〔藥經太素 下〕澤瀉 冷味甘鹹